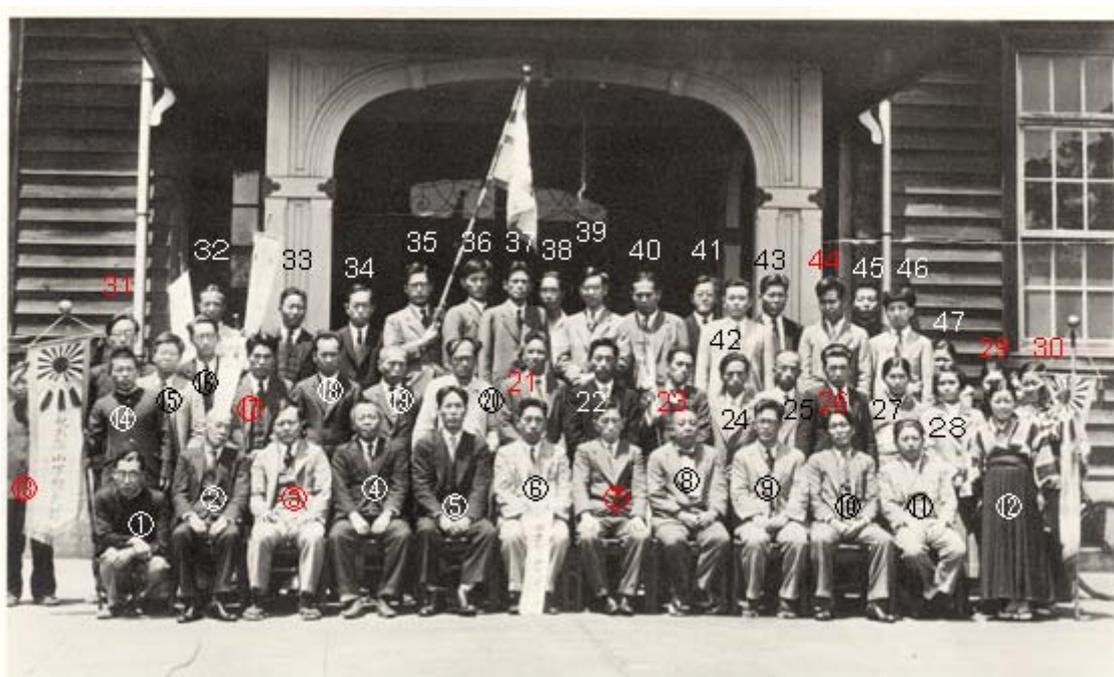


* 東京天文台の出征兵士を送る記念写真2枚(改訂版)と山下時計

アーカイブ室新聞228号(2009年9月2日発行)の「東京天文台の出征兵士を送る記念写真2枚」という記事で、東京天文台100年史(東京大学東京天文台の百年1878-1978)に職員出征記念撮影(昭和16年)という写真がある(写真1)という記事を書いた。この写真は東京天文台職員である山下某氏の出征記念写真で、記念写真に写っている人たちについて筆者が名前を同定してみたが、最前列の人達についてやっと分かる程度であった。



26 職員出征記念撮影(昭和16年)

写真1 東京天文台100年史に掲載された出征記念写真(これは昭和13年撮影)

この記事について、昔の記念写真に写った方の名前の同定をお願いしていた戦前から東京天文台にお勤めしていて、現在もご健在の藤井繁氏から重要な指摘と、お名前の分からなかった方々について同定されたお手紙をいただいた。下記の赤い字で書いたものが藤井さんからの情報で書き加えたものであり、1人(二日市金作氏)については筆者が同定を間違えていた。

① 電気係: 丸子さん、②小川清彦、③及川奥郎、④神田茂、⑤福見尚文、⑥山下さん、⑦ 関口鯉吉(台長)、⑧橋元昌矣、⑨野附誠夫、⑩宮地政司、⑪辻光之助、⑫ x x x x、⑬ x x x x、⑭水洗さん、⑮下保 茂、⑯竹田吉雄、⑰千場 達、⑱加藤平蔵、⑲寺田勢造、⑳堀 鎮夫、21: 二日市金作、22: x x x x、23: x x x x、24: 奥田豊三、25: x x x x、26: x x x x、27: 小川さん、28: x x x x、29: x x x x、30: x x x x、31: 清

水彊、32：x x x x、33：台長の運転手、34：xxxx、35：斉藤国治、36：佐藤友三、37：x x x x、38：虎尾正久、39：中野三郎、40：高沢耕象、41：x x x x、42：村上真一、43：x x x x、44：河野節夫、45：x x x x、46：広瀬秀雄、47：x x x x

筆者は、アーカイブ室新聞 223 号で紹介した古い記念写真の名前の同定を元東京天文台職員であった藤井繁氏にお願いしたデータを参考にしてやっと黒い字の名前を入れたものであった。ところが、この 100 年史に昭和 16 年撮影として掲載された「山下某の出征記念写真」は昭和 16 年撮影ではなく、昭和 13 年の出征を記念して撮影されたものだという事である。藤井繁氏によれば、昭和 12 年 7 月に支那事変が勃発し、昭和 13 年には大勢の人が出征し、そのお一人に「山下某氏」がいて、盛大な送別会をやったのである。100 年史の記述に間違いがあるとは驚きであった。

しかし、人の運命は分からないもので、山下氏は入隊したが、体に欠陥があることが判明し、すぐに帰還したというのである。その手の話として、元台長の広瀬秀雄氏も招集され、盛大に見送ったが 1 週間くらいで返ってきたという。広瀬さんの談話が残っていて「**「ここは、お前の来る所ではないよ」**と云われたよ」と笑っていたそうである。軍隊に召集されてもすぐに返されることもあったようである。

ここから書くことは、また項を改めて記事にしたいが、山下某氏は工場（今の開発実験工場にあたる）の人で竹田さん、次の出征記念写真の水洗氏と一緒に仕事をされていた人で、軍隊から帰ったが天文台を退職し、武蔵境に時計工場を建てて、当時としては画期的な電池を用いた振り子時計（通称山下時計）を作り始めたそうである。

この山下時計こそ、戦後、長い期間、天文観測の恒星時保時を担ってきたもので、筆者が岡山天体物理観測所に入った頃にも使っていた。可搬の水晶時計が出現するまではなくてはならなかった時計である。

次の写真 2 は、辻光之助氏のご子息から提供された記念写真で、写っている方々の同定を藤井繁氏にお願いしたところ、この写真は前列中央に写っている水洗さんの出征記念写真ということだったが、出征記念ではなく、徴兵検査を受けるために郷里に帰る際の送別写真だということである。藤井さんが天文台に入って 2 年目に、工場で仕事をされていた水洗さんに徴兵検査の通知がきて徴兵検査のために帰郷されたそうであるから昭和 16 年に撮影されたことになる。藤井さんは昭和 14 年 4 月に東京天文台に入っている。

そして水洗さんは九州男児で、「故郷に帰るのに工場の作業服のままでは帰れない」というので、藤井さんの姉の洋服店でスーツを仕立て、そのスーツを着た姿で写真 2 の記念写真を撮ったそうである。そして水洗氏は中国で戦死し、天文台に帰ってくることはなかったという。写真 1 には出征記念写真でよく見かけたように、日の丸が掲げられ、出征兵士はたすきがけをしている。しかし、写真 2 はごく一般的な記念写真のように見える。この大きな差は何なのであろうかと思っていたが、出征記念ではなく送別写真であったことで謎は解けた。前列中央に水洗さんがおり、水洗さんの左側に事務長の加賀山さん、右側に工場の竹田さんが写っているから水洗さんを送る記念写真であろう。写真 2 についても藤

井さんは、新たに名前などが判明した3人(赤い字の人)についても情報を寄せてくれた。

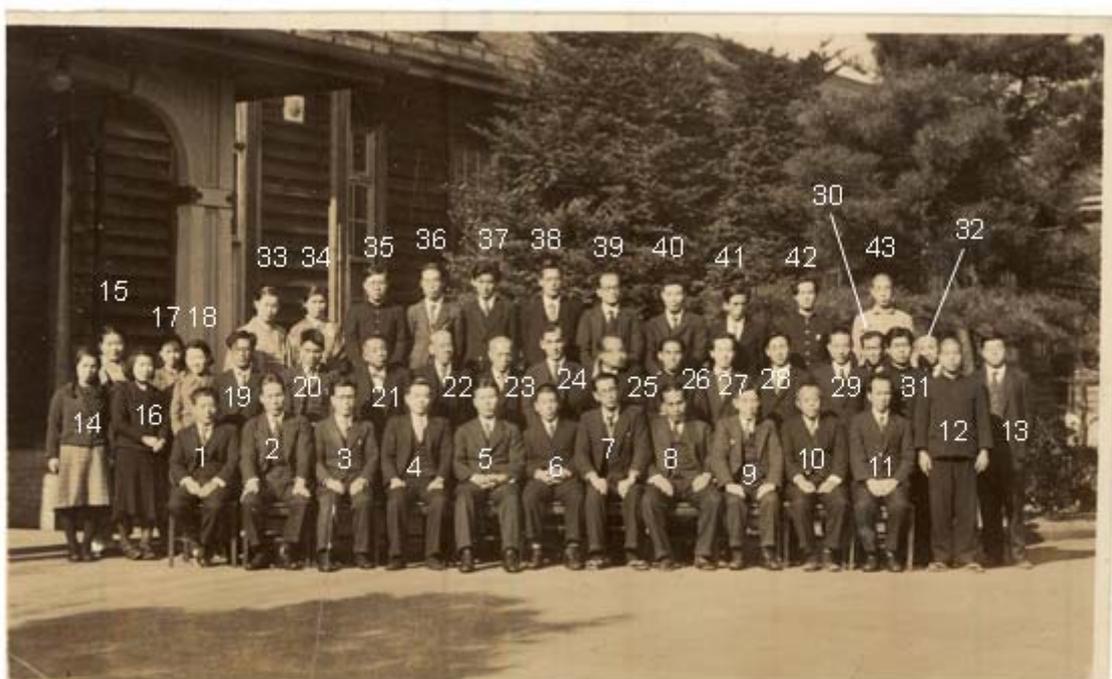


写真2 工場の水洗氏の出征記念写真

1: 辻光之助、2: 福見尚文、3: 小松繁、4: 村上真一、5: 加賀山隼雄(事務長)、6: 水洗さん、7: 武田吉雄、8: 高沢耕象、9: 関口鯉吉(台長)、10: 神田茂、11: 加藤平蔵、12: 樋口さん、13: 下保茂、14: 長久寺住職の娘(電話交換手)、15: 篠宮さん、16: x x x x、17: x x x x、18: 岩田さん、19: 野附誠夫、20: 千場達、21: 橋元昌矣、22: 小川清彦、23: 寺田勢造、24: 井上栄一、25: 水野良平、26: 荻野友七、27: 広瀬秀雄、28: 大沢清輝、29: 長沢進午、30: 三橋悦郎、31: 高橋さん(物理の学生)、32: 工藤房之助、33: x x x x、34: x x x x、35: 物理の学生、36: 虎尾正久、37: 佐藤友三、38: 斉藤国治、39: 堀鎮夫、40: 檀上堅吉、41: 奥田豊三、42: 物理の学生、43: 藤井繁

この写真2枚は、旧本館玄関前で撮影されている。旧本館は昭和20年(1945年)2月8日未明に焼失している。下の写真3は旧本館玄関である。

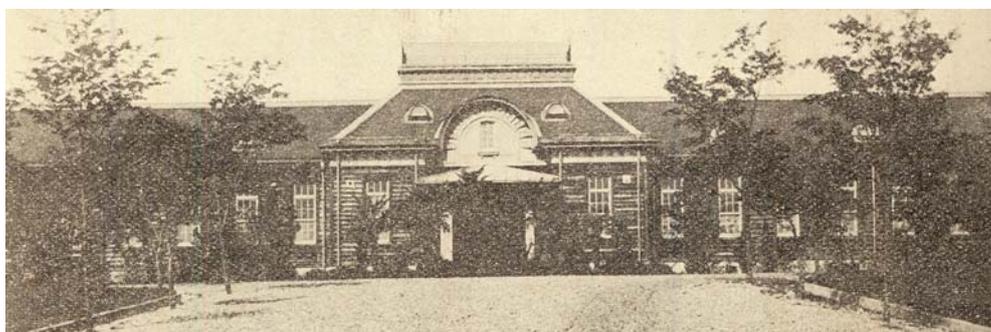


写真3 焼失前の旧東京天文台本館